



# NIA SQUARE スクエア

## 第46号

1999年7月5日  
〈編集〉  
習志野市国際交流協会

- Special** ▶ 魅惑のマレーシア **Front Line** ▶ 在住外国人に日本語を  
**What's New** ▶ N.I.A.の新たな出発に期待 **Air Mail** ▶ テラコッタの窯を訪ねて  
**Report** ▶ タイのスポーツに捧げる青春 **Who's Who** ▶ こんにちは・コ・ン・ニ・チ・ハ  
**Essay** ▶ Distinguished Alumnus Award **Information** ▶ ザ・英文クロスワードほか

## <特集・My favorite Country!> 魅惑のマレーシア...<sup>やまうち ひろみ</sup>山内 広美(N.I.A.会員)

私は、1～2ヶ月に一度マレーシアに出掛けています。まだまだマレーシア全部を見ているわけではありませんが、行くたびに新しい発見がありとても興味深い国です。是非皆様も新しい発見にトライしてみても如何ですか？自分に合っているせいか、私はマレーシアが大好きです。今までも色々な国を旅していますがマレーシアは日本人が本当に住みやすい国だと思います。

マレーシアは、全人口のうちマレー系が60%、中国系30%、インド系が10%を占めています。公用語はマレー語ですが、共通語として英語も使われています。また、同じ中国語でも北京語、広東語、福建語、インド系のタミール語など幅広い多民族国家です。宗教でも、マレー系はイスラム教を信仰している人がほとんどで、たくさんの美しいモスクが街の中に見られるほか、中国系の仏教寺院、インド系のヒンズー寺院と一つの国でたくさんの民族、宗教、料理、習慣などいたるところにあるといった感じです。

街の中を歩いているといろいろな民族の人達とすれ違いますが、やはりとても多いのはマレー系の人達です。特にマレーの女性はイスラム教の信仰上、頭にスカーフをかぶっていますが、それぞれがおしゃれに色々な柄のスカーフで巻き、巻き方もそれぞれ違います。ジーンズとTシャツにスカーフの人もいれば、モスクに行く時しかスカーフをかぶらない人もいて、イスラム教といってもセンスはそれぞれです。中国系の人達は日本と変わらぬファッションで若い人達は今の流行に敏感のようです。インド系の女性は整った彫刻の様な額に、既婚の印であるクンクム（朱色の点）つけて、とても鮮やかな色のサリー姿なのでちょっと目を引きます。

街の中は、本当にいろいろな文化が交差しています。朝の通勤ラッシュは、バイクの多さにきっとびっくりし

ますよ。交差点でバイクがいっせいに動き出すと、その排気ガスで息が止まりそうになります。（マレーシアは排気ガスを規制しているのかな？）ラッシュ時は、多くのバイクが車の前を至近距離で交錯するので、車の運転もなかなか難しそうです。

### \* マレーシアはフルーツ天国！料理天国！

マレーシアで、私が特に好きなものは食べ物です。安いに美味しい！それに、種類がとても豊富で、マレー、中国、インド、タイ、ベトナム、韓国、それに日本料理店もたくさんあって毎日食事が楽しみです。クアラルンプールではアパートに滞在するようにしていますが、私は自炊するより外食した方が安いので、だいたい外食



●ペトロナスツインタワー-KLCCは東洋一の高さ（452m）



●夫妻でテンホー寺院へ。右端はスーザン。

です。たまに日本の家庭料理が食べたい時は、ジャスコ、伊勢丹の食料品売り場に行けばほとんどの日本食材が揃うので不便はないと思います。ただし、豚肉を買う時は気をつけなくてはなりません。マレー系の人には宗教上豚肉を食べる事を禁じられているので、食料品店では普通販売してくれません。別のコーナーで豚肉やその加工品(ハム、ウィンナーなど)を捜し、そちらのキャッシャーで支払う事を忘れないで下さい。中国系の人達もたくさんいますので、もちろん豚肉を買うことに問題はないのですが、最近マレーシア産の豚肉で伝染病が発生し、たくさんの人が亡くなるという事件がありましたので、しばらくはマレーシア産の豚肉は売られていないと思います。

私は、幸運にもマレーシアで中国系の親友、レオン(Leong)&スーザン(Susan)夫妻と知り合う事が出来、美味しい中国料理店や屋台をたくさん教えてもらったり、一緒に過ごす時間を多くとれたので、中国文化や宗教的な事に触れる事が出来ました。レオン&スーザン夫妻は、いつでも本当に楽しい時間を共有してくれて感謝の気持ちで一杯です。ご夫妻の友達とも話す機会がありましたが、皆良い人ばかりで日本の事に非常に興味を示してくれるので、とても暖かい感じがします。

マレーの人達のお正月は1月、中国の人達は2月、インドの人達は11月と一年にお正月が3回も味わえるなどこの国だけかもしれませんね。中国のお正月料理は、日本人にとっても良く合う味ですよ！私は日本の煮魚など魚料理がとて苦手だったのですが、不思議な事にマレーシアの中国風魚料理は本当に美味しく食べられるのです。香味野菜が魚の匂いを忘れさせてくれるようですが、たくさんの種類の魚が食べられるようになりました。フルーツも同様に、取りたてのマンゴー、ランブータン、パイヤなどを食べてみたら好物に変わりました。日本でも普通に見かけるパイナップルやバナナなども新鮮だと

全然味が違うのでびっくりすることと思います。マレーシアは食べ物天国なのです。感激！！

### \*マリンスポーツ・ゴルフ&テニス大好きの方に… ここは絶対穴場！

気候が温暖なマレーシアは、年間を通して平均気温が31~32度くらいあって、ペナン島など有名な観光地やリゾートがたくさんあります。そんな中で、これからご紹介する場所はまだ日本人が少なく観光化していない穴場かもしれませんよ！ ぜったいお勧めです！マレー半島北東部のトレンガヌ州(Terengganu)にあるキジャル(Kijal)やケルテ(Kerteh)などのリゾート地がそうです。Kijalの“Awana Hotels & Resorts”へは、クアラルンプールから国内線の飛行機で1時間。航空運賃は、片道2,700円くらい！トレンガヌ州のクアンタン(Kuantan)空港で降り、そこから車で1時間半。または、ケルテ空港を利用し、現地まで車で30分程です。

先月は、主人の仕事の関係でクアンタン経由で行って来ました。空港からの道沿いは、ほとんどがヤシやゴム、バナナといった南国独特の木々の風景が広がり、昔ながらの情緒ある家々が並ぶ小さな町の商店街や港を通ったりでとても楽しめます。途中には、有名なリゾートホテル”Club Med”などもあります。クアラルンプールに比べるとバイクの数も少ない田舎道なのに車のスピードは120kmくらい出しているの、「この運転手さんは随分乱暴だな〜」なんて思いましたが、走って行くうちにほとんどの車が同じような運転の仕方だったので驚きました。反対斜線に向かってくる車が見えているのに(反対斜線の車も結構なスピード)微妙なタイミングで遅い車をどんどん追い越して行くのですから、私はひやひやしました。話に聞きますとやはり衝突事故がとても多いようです。(恐〜い)信号がなく、のんびりとした一車線道路は、もはや高速道路という感じです。

そんな恐怖もひとたび現地に着けば吹っ飛んでしまいますよ。青い海と青い空、ゴルフ場の緑に囲まれたHotelは、最高です！私は、Hotelのゴルフ場を囲むように建っているアパートに居候させてもらったのですが、クアラルンプールと比べたら別天地。時間も何もかも忘れちゃう感じです。物価は安いし、いろいろ購入しても



●キジャルのRESORTS

日本で生活しているより経済的です。ゴルフ場も思ったよりきちんとしていて(ワンラウンド50 RM、1,500円くらい!コースは日本のちょっとしたゴルフクラブよりもGOOD!)、プール、テニスコートもう帰りたくなくなってしまいそう。その上、ちょっと車で行くと美味しい魚介類を出してくれるレストランがあり、食べ物にも不自由しないと言うわけ。そして、このAwana Golf & Hotelsの料金は、一部屋210RM(6,700円)くらいです。また、世界的に貴重な海亀の棲息数が減少しつつある中で現在マレーシア政府は保護に乗り出していますが、その海亀の産卵シーンを見ることができそうです。今回私は見る機会がありませんでしたが、次回は絶対に見に行きたいと思っています。

マレー半島の東海岸に行くのでしたら、冬にあたる11月~3月は概ね雨季となりますので、できればこの時期は避けた方が良いでしょう。それから、この辺りにはクアラルンプールのように日本料理店や日本食材など買えるお店はありません。



●現地の日本語情報誌「パノラ」(無料)はおススメ!

**\* ちょっと違うマレーシア**

キジャルから車で20分の隣町ケルテを見てびっくりしました。今まで持っていたマレーシアのイメージとかけ離れた、現実的なマレーシア経済に触れているような化学コンビナートがそこにあったからです。高いフレアースタックに火がともった大きなプラントがたくさん並び、大自然の中に浮き上がった島のように聳えているのです。ここは、マレーシアの海底ガス田から採掘した資源を加工する化学工場群で、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニールなどを製造しているエチレンプラントだそうです。そのせいか、たくさんのヨーロッパ人、アメリカ人、日本人などのビジネスマンがケルテに居住しています。私が滞在したキジャルにも、各国からの観光客に混じってケルテの人達がリゾートを楽しみにたくさん来ていました。ケルテに行くのでしたら夜がお勧めです。プラントのライトアップはディズニーランドのシンデレラ城のライトアップに似ていて!?とっても奇麗です。

**\* 聞いて下さ~い**

最近思うのですが、日本の歴史上たくさんの触れ合い

がある東南アジアの文化や生活などを事前に学んでおく感激度が増したりするんじゃないでしょうか。海外旅行の多くはショッピングに という方が多いと思いますが、例えば京都など国内旅行の時はやはり日本の歴史を知っていると感激度が違いますよね。それと、私を含めてマレーシアや他のいろいろな国を訪れる日本人が多くなって、その行動ぶりを目の当たりにすると同胞として考えさせられることが一つあります。

海外団体ツアーなどですぐに羽目を外してしまう日本人がとても多いことは、以前から言われていましたが(今だにそういう方々を目にしますが)、最近ではこんな光景を何度となく目にしています。ある日、クアラルンプールのコーヒーショップで休憩していると4~5人の若い女性が入って来るなりその場で購入したと思われる化粧品や衣類などの包みを広げて買物したブランド物を出しては見せ合ったり、終いには鏡を取り出して新しい化粧品で一斉に化粧を始めてしまいました。近くにLot10、KLCCなどと日本人が好みそうなブランドショップが沢山あり、そこで興奮して周りを気にする余裕がなかったのかな?とは思いましたがまだ、これは良い方の一例です。マレーシアでは、日本人のようにブランド物を若いうちに買い集める人は少ない、と言うか買えないのが普通なのです。マレーシアの通貨、1リンギットは現在33円前後だと思えますが、日本人はやはりちょっとしたお金持ちになってしまうのは事実かもしれません。だからこそ、マナーを持って行動してもらえれば、もしかしたら現地の人やそこに住む日本人も喜ぶかもしれませんよ。現地の人と共に生活している日本人が、マナーの悪い日本人観光客を恥じる事がとても多いように思います。ちょっと情けないですよ。若い女性の買物ツアーなど、一方で現地の人に馬鹿にされている事が多い日本人の海外行動は、乱れ過ぎていないでしょうか。何があったら変わるの分かりませんが、いつかこのことを思い出していただければ幸いです。(了)



●ウミガメの産卵地を示す地図

習志野市国際交流協会 (N.I.A.) は、1986年7月に設立され、本年度で13年目を迎えております。

多くの市の国際交流協会と同じく行政主導の中で発足し、その運営については行政に依存してきたのが実態であります。

N.I.A.の目標は、任意団体としての組織ではあるが市民の参加による草の根交流を原点として、習志野市の国際化の一翼を担い、姉妹都市の交流を初めとして世界の国々との交流や、在住外国人や帰国子女に対する支援の中で、日本文化の継承や理解を深めていくことであります。そして将来は法人化を図りNGO、NPO等の事業展開を行うことが出来るような団体となることが理想でありました。

しかし、この10数年来の日本の社会情勢はバブル時代の経済成長期から、極めて厳しい景気の低迷期が続いています。各行政体も税収の落ち込みを初めて経験し、行財政改革が緊急の課題となっております。

習志野市も例外ではなく職員の削減をはじめ財政再建に向けての多くの取り組みが進められています。このような時代の流れの中で、N.I.A.も自らの組織運営について、行政から脱却し、自らの力で設立時の理想に向けて会員1人ひとりが、その経営に参画する時期となってきました。

習志野市は、1999年度予算編成に際してN.I.A.の独立化による自主運営について検討し、N.I.A.の運営に必要な事務所の確保や人件費について助成することを決定いたしました。N.I.A.はこの方針を受けて事務所の移転をサンロード4階に行い職員の配置とともに4月1日から新たな第一歩を踏み出したところです。

N.I.A.は、発足以来4部門の専門部会を設けて活動をしてきました。事業の実施については専門部会に参加をしている会員や、ボランティア活動で協力を得ている会員の努力によって運営してきました。しかし、これらの活動の実施は習志野市の職員、国際交流係や関係部局の職員の支援によるものが大きかったのが実情であります。

N.I.A.が発足以来、習志野市の国際化に向けて実施してきた数々の事業を基盤に、社会の変化や会員や市民のニーズに対して、新たな事業の拡大を図っていくためには役員を中心とした会員の1人ひとりの協力が必要であります。

1999年度の事業計画の提案にあたり理事会では従来の4専門部会では今後の事業運営は困難である。会員の参画を求めるために事業ごとに部会を設けて、各事業を実施していくことが必要であるとの結論に達し、前年度の事業をベースとして9事業の部門に分類をいたしました。各事業部門の部会長は理事が担当し、会員から協力してくれる部員

を募って、事業展開を行っていかうという方針が打ち出されました。そして去る5月22日に開催のN.I.A.定例総会に提案され、その方針が承認をされたものであります。

9部門の分類と主な事業内容は次のとおりです。

#### 姉妹都市友好事業

青少年交流事業、タスカルーサ市俳句コンテスト、絵画コンテストの参加等の姉妹都市との交流事業。

#### 交 流 事 業

「会員のつどい」開催、会員親睦ツアーの実施、湿地交流の支援、市民まつり参加等、会員や市民との親睦交流を行う事業。

#### 広 報 事 業

N.I.A.スクウェアの発行によって、活動状況を広く宣伝するとともに小・中・高校等の若い世代に国際化への理解を深める事業。

#### 情 報 事 業

国際交流に関する情報の収集を行いインターネットやホームページ等によって情報の提供をしていく事業。

#### 比 較 文 化 事 業

日本文化セミナー、異文化セミナー等の開催や各種イベントの実施によって内外文化の理解を深める事業。

#### 語 学 研 修 事 業

語学交流講座、日本語講師養成講座等の実施により市民の国際化を支援する事業。

#### 在 住 外 国 人 交 流 事 業

日本語講師による日本語サポート活動を中心に在住外国人に対する支援や交流を行う事業。

#### ボ ラ ン テ ィ ア 事 業

ホームステイ、ホームビジットや善意通訳等のボランティア活動を通じて外国人との交流を行う事業。

#### 青 少 年 事 業

若い世代による国際交流の研究や学習会を行い、夏期英語交流キャンプの実施や、ユニセフ外国コイン募金等を行う事業。

9部門に分類はしましたが、今後の事業展開は、互いに連携と協力の中でより効果的な新しい事業の促進を期待しております。事業部会にご協力を頂ける会員は事務局までお申し出ください。

今後は、各部会ごとに部会長を中心として推進体制を作り、従来の事業から脱却し、時代ニーズに合った活発な事業の展開に向けて出発することが、今年度からのN.I.A.の目標であります。

現在N.I.A.の会員は約800名であります。このうち1割の会員の方々が事業部会に参加していただければ、必ずN.I.A.は発展すると信じております。

ボランティア活動は、自らの心を満たすことであります。N.I.A.の事業参画によって、習志野市の国際化に貢献しているという自負を持つために、一人でも多くの会員のご協力を期待いたします。

幸い事務局はサンロード4階の交通至便な処であります。会員同士が語り合えるスペースも出来ました。気軽に立ち寄れる事務局として2名の職員も努力して参りたいと存じます。会員の皆様とともに、N.I.A.の発展と習志野市の国際化に向けて踏み出したいと思っております。

## 役員を選任について

総会で次の方々が承認されました。ご紹介いたします。

任期 1999年5月26日～2001年5月25日（50音順）

### 新任

役名	氏名	住所	役職・担当事業
理事	澤 滋夫	袖ヶ浦4-6-12	交流事業
◇	関 言行	津田沼3-11-13-1106	在住外国人交流事業
◇	館川 裕	花咲2-17-6	広報事業
◇	富谷 輝夫	鷺沼1-1-1	副会長
◇	西川 藤男	実初町4-980-1-106	
◇	正岡 淳子	香澄1-3-7-206	青少年事業
◇	増子 繁治	東習志野1-2-1	
◇	松盛 弘	鷺沼2-1-10	
◇	山崎美知代	鷺沼台3-2-33	ボランティア事業

### 再任

役名	氏名	住所	役職・担当事業
理事	井吉 仙征	秋津2-1-5-201	情報事業
◇	小林 実	東習志野4-6-5	副会長
◇	鷹栖 明	谷津6-7-2-809	姉妹都市友好事業
◇	田中 稔	津田沼5-12-12	
◇	林 安次	香澄2-5-6	会長
◇	藤野 晴子	秋津3-2-1-3	語学研修事業
◇	松本 朋子	袖ヶ浦5-6-13	比較文化事業
監事	高村 久男	鷺沼台2-19-32	
◇	富原 啓	東習志野6-9-4	



●総会における新役員の紹介

## にぎやかに一會員のつどい—なごやかに

會員のつどいは、総会終了後ザ・クレストホテル桜の間で開かれました。N.I.A.顧問の荒木勇市長と帯包文雄市議会議長の祝辞を戴いた後開宴されました。

約100名の會員が参加され、外国人の方の顔もみられました。アトラクションでお願いした、千葉インターナショナルシンガーズの山浦浩さんの素晴らしいクラリネット演奏に、會員の中から、ステップを踏む人、ダンスを楽しむ人も現れて、にぎやかな中に大変なごやかなムードに包まれました。

今後も會員の皆さんのアイデアをもとに楽しい集いの企画を行いますので、多くの會員の参加を期待します。



習志野市実初町在住のこいしはら かつる小石原勝氏は、キック・ボクシングの選手である。東習志野8丁目にある習志野ジムに所属し、キック・ユニオンのフェザー級2位というランキングで、次期日本チャンピオンの座を狙っている。ただ、日本ではキック・ボクシングで生計を立てることのできる選手はほんの一握り。たいがいは正業や副業を持ちながら日夜、練習に励んでおり、小石原氏もその例外ではなく地元で通信工事を経営している。

そんな小石原氏が今でも脳裏に焼き付いて離れないのが、5年前のタイ・バンコクでの生活である。

「19歳の時からキック・ボクシングをはじめましたが、きっかけは近くにジム（習志野ジム）があったからです。たまたま、コーチがタイ人だったし、仕事でもタイに行ったことがあったので、違和感はなかったですね。やはり本場で修業を積んでみたいという思いがありました。」

小石原氏がタイに渡ったのは1994年2月、仕事の都合で3ヶ月間という期限を区切った滞在であった。タイ人のコーチの知り合いがいるジムを紹介され、そこでキック・ボクシング（正式には現地語でモエイ・タイという。）の修行を積んだ。

ジムはバンコク市の東南部、スクンビット通りソイ103街区にあった。スクンビット通りと言うと、バンコクに観光で訪れたことのある人なら、アラブ人街、インド人街、日本人街など多様な民族が集まる一画で、ショッピングセンターや歓楽街が立ち並ぶ光景を思い浮かべる人が多いだろう。だが、スクンビット通りとラマ4世通りが交差する一帯を抜けて、ソイ103に入ると景観は一変して、地方都市の幹線通りといった雰囲気になる。観光客も少なく、現地人が住む地域である。

小石原氏は、そのジムで3ヶ月を過ごす。5～6人が雑魚寝する寮の大部屋で暮らし、スター選手を目指すタイ人と一緒に寝食をともにし、質素な生活を送った。

「バンコクでは1万人以上の人一流選手になることを夢見て、モエイ・タイの修行を続けています。選手層が厚く、子供同士の試合も行われていました。未成年の子供も精神的に自立しており、ハングリー精神を持っている選手

● 精悍な顔だちの小石原氏



ばかりでした。」

毎朝5時に起床し、一時間ランニングをしてから午前中はみっちり練習をする。シャドー、サンドバック、ミット打ちなどを行い、筋肉トレーニングやスパーリングなども精神的にこなす。昼食・休憩を取った後は午後3時半ぐらいから再び練習を繰り返す毎日であった。

「練習の合間に休憩を取ることが精一杯で、平日はバンコクの街を歩いた記憶はあまりないですね。日曜日は朝だけ練習して、午後からタイ人と一緒に遊びに行くことはありました。」

モエイ・タイは、日本では相撲にあたるタイの国技に相当する格闘技。同じ体重では世界一強い格闘技と言われ、日本以上の格闘技王国であるオランダの空手選手でさえ、モエイ・タイには苦戦を強いられている状況だ。それだけに、この世界で生き残るためには、過酷な練習に耐えなければいけない。

「私の場合、練習だけという条件で修行を積んだので、タイでの実戦経験はありません。ただ、タイでの練習環境が整っているのは事実です。モエイ・タイは賭けの対象ともなっていたので、中途半端な試合をした時は暴動になります。それだけ観客も選手も真剣で、スタジアムには独特の雰囲気が漂っていました。また、KOで決まる試合が少なく、最終ラウンドまで運んで審判の判定で勝敗が決まる試合がほとんどです。タイではKO勝ちの多い選手は人気がない傾向にあります。」

最後まで競り合うことを楽しむのだろうか。意外なことにタイでは、十指に入るスター選手は豪華な暮らしをして

印刷とデザイン

松樹印刷(有) 習志野市鷺沼1-15-16 電話 047-451-2222 FAX 047-451-2302

葬祭全般

習志野

博心社

(株) 司茂商店

ceremony company hakushinsha, memorial service.

本社 習志野市実初町4-974(司ビル) TEL (047) 477-2500

24時間受付 0120-70-9944

市民(福祉)葬 家庭葬 斎場葬 団体葬の各ご葬儀

いるが、それ以外の選手は質素な暮らしをしているようだ。

タイでの修業を経て5年、小石原氏は正規の試合以外にも、東京足立区綾瀬にあるタイ料理屋にある特設リングでよく試合をすることがある。タイに骨を埋めてモエイ・タイの頂点に立つ夢はなかったのか。

「日本での仕事もありましたし、日本での生活のほうが物質的にも恵まれて慣れてしまっていましたから。」

仕事とキック・ボクシングの両立は確かに大変だろう。しかし、タイでの過酷な練習に耐えた根性があれば、日本でスター選手になることは夢ではないかも知れない。日本チャンピオンを狙う座にいる小石原氏の今後の活躍に期待したい。



## ASAHI 学園 (国際科)

中高生のための夏期英語講座 (基礎～受験)

家で学べるINTERNET ENGLISH LESSON

留学生の必須英語

仕事をする人の英語

少人数でアットホーム  
やる気と志のある人、望む！  
長年ビジネスで英語を駆使した先生より

\*お問い合わせ ☎047-471-0943 FAX047-487-4871  
JR津田沼・京成津田沼駅より徒歩5分  
(住所) 〒275-0016千葉県習志野市津田沼2-3-28第二川島ビル2F

# Event

## ■習志野文化ホール9月23日公演 《中国国立交響楽団》

音響効果の良さとユニークな演目で注目されている「習志野文化ホール」が、今年度の自主事業の一つとして《中国国立交響楽団》を招聘する。同ホールとしては久方ぶりの外来オーケストラだが、なじみの薄い中国からなので、どんなオーケストラか紹介しよう。

このオーケストラは、“世界に誇れるオーケストラを中国に！”との願いで、1996年に結成された中国初の本格的プロ・オーケストラ。長い歴史を持つ中国中央楽団を母体に厳しいオーディションを経たメンバーと、世界各地で活躍する中国人演奏家や、コンクール入賞者などの精鋭を中心に編成された。編成されて日が浅いが、国内での定期演奏会、特別演奏会、上海やマレーシア、シンガポール公演の他、98/99シーズンは、ヨーロッパ（ドイツ、オーストリア、イギリス）公演などを行い、各地で絶賛を博した。

今回は、中国建国50周年を記念してのツアー。もちろん初来日。「中国が総力を結集して贈る、新生オーケストラの音楽を耳の肥えた日本のファンに聴いてほしい」というのが、日中双方の関係者の願い。

習志野でのプログラムは、中国の民族楽器、二胡の第一人者・姜建華をソリストした「哀歌」など中国の作品の他、ベルリオーズ、チャイコフスキーの名曲による楽しみなもの。未知のオーケストラへの期待感を十分満足させる演奏会になるに違いない。

芸術監督・指揮／陳 佐涅 [チェン・ツォファン]

二胡／姜建華 [ジャン・ジェンホワ]

曲目／ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」

華 彦鈞：二泉映月

楊 立青：哀歌－二胡とオーケストラのための

チャイコフスキー：交響曲第4番へ短調作品36

後援：習志野市国際交流協会ほか

初来日 **中国国立交響楽団** 演奏会

9月23日(木・祝) 14時開演

S=6,000円 A=5,000円

B=4,000円 C=2,000円(高校生以下)

ベルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」Op.9

華彦鈞／二泉映月

楊立青／哀歌－二胡とオーケストラのための

チャイコフスキー／交響曲第4番へ短調作品36

主催・お問合せ／習志野文化ホール 047-479-1212

米国ペンシルバニア州立大学(The Pennsylvania State University)では、個人としての生活・職業上の業績及び社会奉仕面において模範例となる卒業生に対し、これを認め、敬意を表することを趣旨として、The Distinguished Alumnusという賞を毎年6~8名に授与しています。1974~76年に同学で学んだ本田さんは、日本から留学した卒業生として初めて受賞の栄誉に恵まれました。日本ではあまりなじみのない賞かも知れませんが、皆さんにご紹介致します。

☆授賞式は、通常6月第1週の金曜日の朝から土曜日の夕食会に至るまで、学内ツアー、朝・昼・夕食会、名物教授によるレクチャーの聴講など、心こもった日程が生まれ、恩師や同窓生らと旧交を暖めることができるように配慮されている。小生が学んだ工業力学科の年配の教授から冗談交じりに、「我々も卒業生なのに、どうして君が?」と問われ、「私の場合には、工学以外でも何かできたからでしょう。」と答えたことが記憶に新しい。1998年の受賞者を振り返ってみると、900編を超える論文を出された医学者・大学理事会での功労者・企業のトップ・元陸軍高官・著名なTVプロデューサーなど合計8名で、小生の受賞事由は、同学の名声と栄誉を日本と米国に広めたこと、となっている。

小生の受賞の決め手となったのは、1997年に、同じ機械工学が専門のJohn Brighton副学長を日本機械学会の百周年記念講演会に基調講演者として招待申し上げ、同氏と共に日本を代表する3大学の総長を訪問することなどにより、日米の学術・スポーツ交流に微力ではあるがお手伝いさせていただいたことにあると思う。同時に、過去10年余りの母校への想いに発したささやかな行ないの積み重ねが評価されたものと思う。この間Joab Thomas先生(同学名誉学長、Alabama大学名誉学長)には、様々な面でご指導・ご鞭撻いただいた。

また、母校に特筆すべき貢献をした卒業生に、Lion's Paw Medal (Lionは同学のマスコットで、アメリカンフットボールなどの対抗戦に現れる)が授与されるが、98年は、私財40億円近くを投じて、英才教育のためのSchreyer名誉カレッジを創設されたBill Schreyer氏(元Merrill Lynch会長)が受賞された。昼食会の折に、小生の顔を遠くから見て握手しに來られ、万感の思いであった。現在小生は、同カレッジに日本の学生も入学できるような提案書を、同学に提出している。



●額ぶち入りの証書を手に(向かって左:Graham Spanier学長/右:Edward Junker)理事長。証書には、「誇りと愛情を持って受賞者と認める」と記されている。

さて、メインイベントは、タキシードと黒タイを着用して学長室と時計台の有るOld Mainで土曜日に行なわれた夕食会と、受賞者のスピーチであるが、あまねく話術の達人の中で最後に行なった小生のスピーチに、ひときわ高く“Congratulations!”という喚声が高き上がったので、心に伝わるものがあったようだ。

受賞者は、名誉ペンシルバニア州民としての扱いを受け、大変丁重に扱われる。例えば、小生が同学訪問途上に他州の空港での盗難に気づき、到着後警察に電話したところ、警官自ら宿舎に向われ、V.I.P.扱いで対処していただいたことなどが挙げられる。

先月、受賞者の会(The Society of Distinguished Alumni)に出席した折、今年度の受賞者と共に過ごす機会があったが、博士号を持たずにVirginia State Universityの学長になられたEddie Moore氏や、昨年Clinton大統領に国家科学会議の委員に任命されたJoseph Miller氏(DuPont上級副社長)など、そうそうたる顔ぶれであった。

最後に、関係者のご支援により国際的な公式の場で仕事をさせていただく機会が少なからずあったこと、また、これらの機会がなければ本受賞もなかったであろうことを付記し、深甚の謝意を表したい。

Dr. Hiroshi Honda, a resident of Yatsu, received "The Distinguished Alumnus Award" from his alma mater, Penn State. He was the first Japanese recipient in the university's history.



●瓦を前に歴史を述べるベンディン氏と。私の手の本は、ベンディン氏の著書「ヴィチエンツァ県の窯」、左はエンリカさん



●古代ローマのテラコッタを焼く窯のあった畑。ラテン文字入りのレンガや瓦が多く出土した場所です。郷土史家のベンディン氏と、カルドーニョの柔道講師エンリカさんと共に

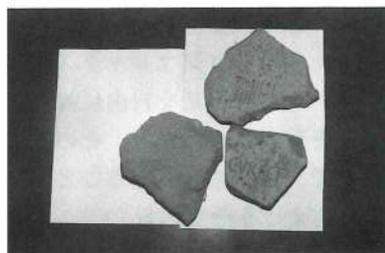
カルドーニョ市をはじめとした周辺の町々を結ぶ街道（古代ローマ時代のものも含めて）や畑の中の道路が高い所にあるのは？ 稲作の話もなく？ 実は2000年以上も昔から、テラコッタ（粘土を素焼きした陶器）を焼くために粘土を掘ってしまった、とわかりました。カルドーニョには、古代ローマ時代の水道跡も残されており、今でも、ヴィチエンツァ県とバードヴァ県の大切な水源地（湧水池が数多くある）です。カルドーニョ周辺は、質の良い白粘土質のため、古代ローマ時代から、テラコッタの材料として、今だに掘られ続けています。

時代によりテラコッタの内容は変わりますが、レンガや瓦を中心に、ツボや皿と食器、柱や天井の飾りなどが多く窯で焼かれてきました。1300年代の頃、ヴィチエンツァ県内に900カ所の窯があったとのこと。2000年前から窯の持ち主の刻印や皇帝や貴族の名前などをレンガや瓦に入れるようになったとのこと。右の写真は我が家から2kmの所にある古代ローマ時代の窯のあった場所から出土したレンガに刻まれた QUINTO CVRIUS CALL FILIU という窯主の名前です。イラストの④は古代ローマ時代の瓦とローマ水道、⑤は窯。⑥は中世の瓦とカルドーニョ宮殿、⑦は窯。⑧は現代の瓦、⑨は窯。30年前にレンガ工場ができるまで、粘土から型抜きし、太陽熱で乾燥させるまでの過程は、古代と大差ありませんでした。作業過程は、イラストのように、左から①ワラ入り粘土（ワラ入りの方が冬の凍結にも強い。古代エジプトから伝わった技法）を素足で練る。②台の上で木型に粘土を入れ、糸で切る。（足のすねで瓦の形にする）③型から抜いて、砂をまぶす。④太陽熱で乾かす。（夏の作業）⑤薪とレンガなどを交互に並べ、1～2日窯で焼く（冬の作業）…

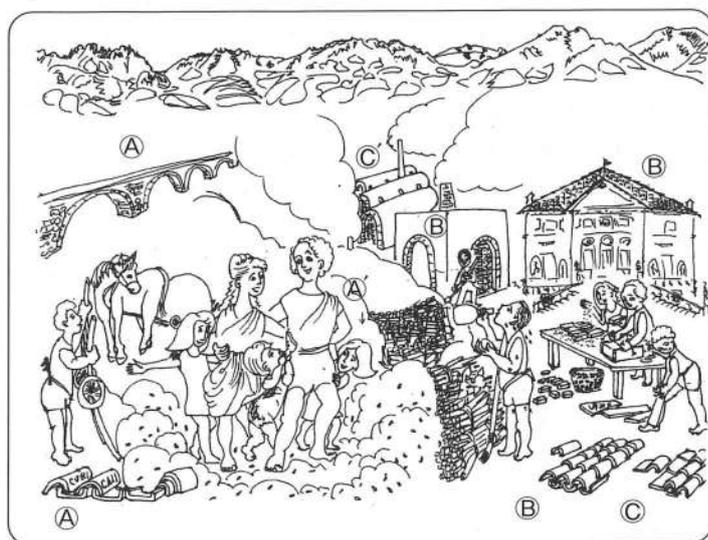
「暑さと熱さには、ワインと塩が体に良い」とか。取材をした人たちから、「トリも焼きながら食べた思い出が残っているヨ」という話も伺いました。「子供の頃、祖父の手伝いで粘土を足で踏んだ」という話も。（注：地中海のテラコッタの歴史は古く、5000年前からです。約3000年前にメソポタミア文明から塗り壁の技術がイタリアで流行。逆にテラコッタ文化が東方へ広まり定着しました。現在は

オートメ化が進み、カルドーニョ周辺の市営の窯も閉鎖され、隣市のピッラヴェルラで手作りレリーフ、植木鉢などが細々と昔の方法で焼かれて日本向けに輸出されているとのことでした。大きさも形も均一ではない、手作りのレンガや瓦などが減ってしまっただけ残念です。）

イラストの遠方はドロミティの山々です。この山から切り出した石とレンガ積みの壁の多いカルドーニョは、まるで博物館。どの壁にも必ず巨大シダとアンモナイトや古代魚などの化石が見つかります。イタリアは、どの町も古代ローマ時代から中世・近代までの建物がミックスされているので、瓦や窓の形と壁のタイプから年代を見分けることができます。ぜひ、皆さまに瓦などをじっくりと観察することを、おすすめいたします。BUON DIVERTIMENTO！（楽しんでネ！）



●ラテン語で窯主の名前の入ったレンガ片と瓦片。各々が手の平の大きさです。



習志野市にも1,400人を超える外国人が住んでいます。日本語が話せない人のために、この協会の9事業の一つ「在住外国人交流事業」として、ボランティアの講師がマンツーマンで日本語のレッスンを行っています。

職場で上司の指示が理解できないで悩んでいる人、友達も少なくて淋しい人達にとっては心の支えにもなっているようです。また、身近に住んでいる外国人が日本語でコミュニケーションできるようになってくれることは、私達にとっても好都合なのではないでしょ

うか。

レッスンは、京成津田沼駅サンロードの6階(市の分庁舎)で月曜と水曜の午前及び木曜の夕刻に行われ、週1回90分の授業を45名(15ヶ国)の外国人が受けています。

現在活躍中の講師30名のほとんどが協会主催の「日本語ボランティア講師養成講座」の修了者ですが、これと同等の経歴をお持ちの方も参加されています。なお、原則として、日本語を日本語で教える直接教授法を採っています。

講座修了の時点では「果

たしてうまくできるか」不安がちなものですが、「案ずるより生むは易し」で、皆さんそれぞれ独自の工夫を凝らしながら献身的に努力されており、頭が下がる思いです。なお、いろいろなお国事情を知り講師自身の世界が広がることもあり

ましよう。

今年度後半には再び養成講座が予定されており、既に受講希望を事務局(452-2650)に寄せられた方もいらっしゃると思います。また、講師御希望の方も事務局まで御連絡頂ければ幸いです。



コラム 〈日本語教師体験記〉

日本語を“共学”できる素晴らしさ 沼澤佳子

私がまだ10代だった頃、家族につれられ日本海の海岸通りをドライブした事があった。松並木が美しく、物静かで独特の風情を感じたものだった。そのときの風景は、いまにして思えば、私の抱いている日本語のイメージと重なるものがある。穏やかで、かつ奥ゆかしさを持ち、単純には表わせない、深みのある言語、それが日本語であるように思う。まだ半世紀も知らない若輩者で、言葉のアクセントにもコンプレックスを感じている地方出身の私が、いかにも言葉を自由に操っているかのように、人に言葉を教えることなど、その頃には考えたこともなかったのが、日本語を教えることになり、戸惑いと不安がないと言えようそである。

「日本語ボランティア」をする前に、本格的に日本語を教えたことはなかったが、それと似た経験は何度かあった。スペインで暮らしていた時、日本語を学ぶ青年に頼まれたのが最初。その青年は、私が帰国して1年後に日本にやって来た。また私が結婚する以前、近所に住んでいた日本人と結婚した外国人の奥さんに。

いずれの場合も、それほど深く意識せずに、「日本人だから日本語は教えられて当たり前」という感覚でのぞんでいたように思う。結婚後、考えは変わるもので「日本語とはこんなに深みのある言葉なんだ」と、他の外国語と比較し思うことがあった。たとえば、言語によっては、親しい人に対する「あなた」と、そうでない場合の「あなた」、それによって動詞も変わったりするが、日本語のように立場が違っていることで、言い回しがかなり異なる場合もある。改めて、ふと日本語のそんな特徴に気がついたりする。

私の知人の中には、とても美しい日本語を話す方がおられる。言葉によって相手を傷つけることなく、自分を驕ることなく表現し、言葉にする。言葉を受ける側にとっては、とても自然でしなやかな印象を与えてくれる。

そんな日本語を聞くとき、私自身も日本語は、たとえ方言などで、アクセントが標準語と多少違っていても、心ががよい心が温かくなれば良いのでは…などと考える。むしろ自分の言葉に自信を持ち、相手の人間としての尊厳を傷つけることなしに、理解し、相手に不安を与えないことこそが、言葉を話す、つまりコミュニケーションする上で大事なことなのではと思う。四字熟語を並べて話すよりも、簡単な言葉でも優しさが伝わってくるような話し方をする方が、好感を持てることもあるのが日本語なのではないだろうか。

「日本語ボランティア」をしながら思うことは、日本語を学ぶ彼らが、早くこの国に馴染め、自分の言葉として日本語を自由に操れ、街が歩け、生活が不自由なく送れるよう、私たちボランティアは彼らを暖かい目で見守り、そのためにこそ言葉を伝えたいと言う情熱と明るさを持って、のぞむことが必要ではないかということである。

私にとっても言葉を通して、日本の良い所を再確認する機会でもあり、“共学”している日々なのである。彼らと向き合うとき、地中海にも負けない澄みきった心で、カリブ海のような情熱的な思いを持ち続け、少しでもお役に立てればと思いつつ、この至福のときを楽しんでいる。

最後に、日本語ボランティアに興味のある方、ぜひ一緒に活動してみませんか。

# 会員紹介 / こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ / みなさん、どうぞよろしく！

## 藤田 喬子さん (千葉市在住)

初めまして。5月からこちらでボランティア日本語講師を始めました。普段は、専門学校で日本語教師になる為の勉強をしています。

私が日本語教師という職業にあこがれを持ったのは、外国の方にもっと日本のことを知ってもらいたいと思ったからです。また、中学の時に行ったオーストラリア遠征の影響も大きいと思います。初めて海外へ行って、日本とは全く違う風景、建物や町並などにあこがれ、言葉の違う方とコミュニケーションをとる難しさを感じつつも、大変楽しかったという思い出があります。

そして、国内だけでなく、海外でもできる仕事、中学高校の授業で学んだ礼儀作法など、これまで学んできたことを生かされる職業に就きたいと考えるようになりました。そんな時、日本語教師という職業があることを知り、今その夢に向かって頑張っています。

学校では、日本語の文字や表記、文法、言語学、音声、模擬授業というような授業を受けています。日本人なのに日本のこと、日本語のことをよくわかっていなかった自分に気づかせられる毎日で、もっと日本語に敏感にならなくては、と感じさせられます。

こちらのボランティアで、日本語教師としての経験を積んで、外国の方に日本語だけでなく、文化や食事や遊び、そして相手のことを大切に思いやる日本人の心までも、伝えられるような素敵な日本語教師になりたいと思っています。



## 鈴木 信義さん (本大久保在住)

今春定年退職の後、N.I.A.会員として、日本語教師の道を歩みはじめたばかりの駆け出し者です。30数年間商社に勤務して来ましたが、このボランティア活動を通じて新しい人間関係が出来れば、幸いです。仕事柄外国との接点は若干ありましたが、年のせいこの間の苦しかった事々も、すっかり良い思い出に変換しました。そんな次第で、今でも幾つかの食べ物の味だけが鮮烈に舌先に残っています。

30代に、ブルガリアの首都ソフィアで5年間を過ごしましたが、何と言っても羊の乳から作ったヨーグルトとチーズの味は大きな壁でした。ヨーグルトは余りの酸っぱさにどうしてもジャム等を入れてしまいましたが、これは現地の人には許せぬようで、大いに軽蔑の眼差しで見られ、文化を理解せぬ俗物としか映らなかったようです。そのうちチーズと共に生一本の美味しさがやっと分かり、市民の端くれとして受入られたようでした。

7年前に50才を過ぎてベトナムのハノイに赴任しました。食材豊かな国ですが、ふと屋台で食べたもち米（ピーナッツ豆入りで、ピーナッツに塩をかけるので白色のおこわ飯）がすっかり気に入り、毎朝のように食べていたものです。

千葉県はピーナッツの産地ですから、皆さんも試してみてもは如何でしょう。それとチキンだしのベトナムうどん、春巻きを加えれば、安くて美味しい味の3兄弟といったところです。



## A GLIMPSE OF "FILIPINO"

### Saijo Jessica さん (藤崎在住)

フィリピン人の国民性を単に誠実で親切、楽しみ好きで働きもの、特にもてなし上手などの言葉では言い表せません。一時でもフィリピン人の家族と過ごす機会があれば、その感を深めることでしょう。

フィリピン人の多くは信仰心が厚く家族思いです。親密な家族の絆を大事にします。父親を"タタイ"、母親を"ナナイ"と呼びますが、普通の家族は3人以上の子供がいます。時には、スポーツチームを構成できそうな6人兄弟などということも珍しくありません。このことは、家族の親密性を保つ上で重要な理由となるに違いありません。特別な場合には、全員がすぐに寄り集まります。

米国旅行中、フィリピン人の家族にお世話になる機会があり、改めて同胞の気安さを思い起こされました。現在、世界中いたるところにフィリピン人が住んでおり、固有の文化が息付いています。フィリピン人は、家族の友達のそのまた友達でさえ、気軽に家に泊めてしまうほど人が良く、暖かい心の持ち主です。「あなたの友達是我的友達」、いつも新しい友人になりたいと考えています。友人が具合が悪くなったとしたら、一生懸命手を差し伸べてくれるでしょう。私の素晴らしい仲間たちを称賛して、乾杯！！

Sincere and benevolent, fun-loving and hardworking, and especially hospitable are only a few of the traits one can describe that of a Filipino.

The genuineness of such can be best felt when one would experience to stay with a Filipino family for a period of time.

Most Filipinos are deeply religious and family-oriented, too.

They believe in closer family ties. An average family is comprised of a father commonly called "Tatay", and "Nanay" for mother and three or more children sometimes greater like six siblings big enough to make a team. This must be one reason for the closeness among family members. On special occasions most would get together for a reunion.

My travel to some places in the U.S.A. in which I had a chance to stay with some Filipino families had enlightened my mind once again of these unappreciated values. There are a great number of migrant Philippine nationals all around the globe, these days. Yet these values still remain in their minds and hearts ever burning. With open heart and warm hospitality, the Filipino family is generous enough to willingly accommodate a friend's friend because they would like to welcome the new friend, indeed, as in the saying, "Your friends are my friends, too". When someone is ill, they would also render their untiring help. I guess it's time to give them a round of applause. Cheers to you my Fellow Filipino!

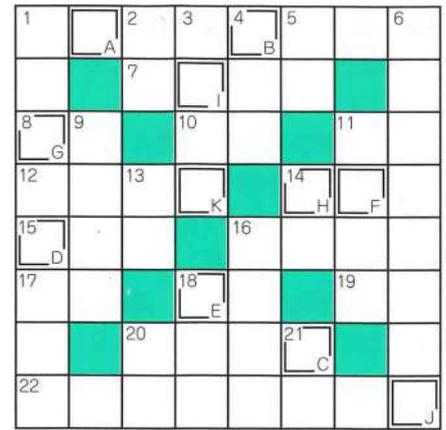


〈DOWN〉

1. Knitted woolen garment, with sleeves, which buttons up
2. Letter of Credit
3. Free from pain or anxiety
4. Non Governmental Organization
5. Destroyer Escort
6. Keep in the memory
9. Think deeply or dreamly
11. Plant with seeds growing in pods, used as food
13. Nice \_\_\_ meet you!
14. Chemical symbol for selenium
16. Feathered animal with two legs and two wings
18. Tank or great vessel for holding liquids
20. Example
21. Opposite of "Yes"

〈ACROSS〉

1. List of the days, weeks, month, etc.,
7. Box, place, closed in with wires or bars in which birds or animals are kept
8. Royal Mail
10. It is now late — we had better go to bed
11. Bachelor of Medicine
12. He bought the cigarettes at the \_\_\_ free shop in London
14. \_\_\_, saw, seen
15. International Service Order
16. Cross bar of a balance
17. Chemical symbol for germanium
18. Virgin Island
19. New Brunswick
20. Get in return for work or as a reward for one's qualities
22. Neighbor



〈コメント〉

★今から胸沸く『真夏の夜の夢』オールスターゲームの開宴は7月24日。今年、ShowとしてよりもRookie VS. SLUGGERの真剣勝負の感動に浸りたい。

〈出題者〉 御園生 馨 (N.I.A.会員)

〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A~Kの文字をつなげてできたことばが正解です。

ハガキに解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。7月末日必着。

正解者の中から抽選で2名の方に、アラバマ大学オリジナルTシャツをプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先: 〒275-0016 市内津田沼5-12-12 サンロード4F 習志野市国際交流協会「N.I.A.スクウェア」編集部まで。たくさんのご応募お待ちしております。



# Information

## 日本語講師養成講座の開講

在住する外国の方々に日本語を教えていただくボランティア講師の養成講座を開講いたします。日本語を学びたいという外国人が、増えております。養成講座終了後は、ボランティア講師として活躍したい方々の参加を期待しています。

講座は、週2回(火曜日と金曜日)を原則に全30回ですが、従来の養成コースと実践コースをまとめて開講いたします。

開講期間: 9月7日(火)から12月21日(火)  
(11月23日(祝)は除く。)

時間: 午前10時から正午

会場: サンロード6階大会議室他

受講料: 5,000円(他にテキスト代が5,000円程度)

講師: 手綱 久枝先生

定員: 20名(多数の場合は抽選)

申込み: 官製はがきに「日本語講師養成講座希望」と明記の上、住所・氏名(フリガナ)・電話番号を記入し、〒275-0016 津田沼5-12-12 サンロード4F習志野市国際交流協会事務局へ。締切りは8月10日(火)必着。

## 英語交流キャンプに行きませんか?

N.I.A.では、今年の夏休みも青少年の英語キャンプを計画いたしました。8月19日から21日までの2泊3日で富士吉田青年の家を中心として、外国人の先生方とともに英会話を楽しみながらキャンプを行います。交通は貸切りバスで、富士吉田周辺の観光やみんなで協力して料理を作ったりしながらキャンプファイヤーを囲み、たくさんの友達をつくってほしいと思います。学生会員の皆さんも友人とともに、ぜひご参加ください。

日時: 8月19日(木)~21日(土)

場所: 習志野市立富士吉田青年の家

参加対象: 中学・高校・大学生

定員: 30名

費用: 10,000円(交通費・宿泊費・食事代・保険料を含む)

申込先: 〒275-0016

津田沼5-12-12サンロード4F

習志野市国際交流協会 事務局

電話・FAX 047-452-2650

★申込みは、住所・氏名(ふりがな)・学年(年齢)・電話番号を明記して上記へハガキかFAXで7月31日(土)までに。申込多数の場合は抽選で決定いたします。

## 前回の解答

〈解答〉 BRISBANE

K	A	N	G	A	R	O	O
I	C	R	I	B		R	
N	O		A	M		K	G
D	U	T	Y		T	E	A
N	R	A		B	E	E	N
E	S		M	E		P	I
S		B	O	A	R		Z
S	E	P	A	R	A	T	E

## N.I.A.スクウェア・第46号

発行1999年7月5日/発行責任者・林 安次

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・館川 裕

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650